

# ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.118

2021  
8.1

特集

まなびあテラス  
と  
東根市議会



東根市図書館(まなびあテラス内)にて



東根市議会

検索



特集  
まなびあ  
テラス  
と  
東根市議会

本市の芸術文化の拠点、賑わい創出の拠点として、多くの人に親しまれてきた「まなびあテラス」は、今年11月で開館から5周年を迎えます。本市4番目のPFI事業として整備され、民間事業者による質の高いサービスの提供を目指し、日々、創意工夫を凝らしているスタッフの皆さんに、施設運営等についてお話を伺いました。



地域とつながり、地域に根付いた活動で  
ともに参加する場を目指して

はじめましての5年間  
を振り返って

**森谷館長** まなびあテラスは、図書館、美術館（市民ギャラリー）、市民活動支援センター（以下「センター」）が併設する全国でも珍しい施設で、開館からたくさんの方にご利用いただき、2019年12月に来館者が100万人に達しました。昨年4月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、他の公立図書館がほとんど閉館するなかでも図書の貸出は続けたことで、新聞にも取り上げられ、

注目を浴びました。

各機能の特徴、  
注目ポイントは

**森谷館長** 図書館は、蔵書能力20万冊を備え、東北の図書館で唯一と言われる電子図書館を導入しており、コロナ禍で需要が高まっています。

**加藤さん** 美術館では、私たちの主催事業のほか一般の方々が取り組まれた作品を披露できる場として貸出しています。  
**高橋さん** センターでは、団体の

活動や新たなことに取り組むたい方々のサポートをしています。令和元年11月の周年事業「みんなテラス」では、登録団体の活動PRを行いました。

**森谷館長** 「サポーターズクラブ」のボランティアの方々が運営に協力いただいていることも特徴の一つです。

コロナ禍での  
苦勞は

**加藤さん** 美術館においては、県内外からの来場者も多く、コロナ

禍の中でも安全に楽しく観覧できるように努めています。

利用者の皆さまからの  
声は

**森谷館長** 市外からお越しの方から施設の場所、駐車場の位置が分かりづらいという声を聞いたことがあります。

**高橋さん** コロナ禍で隣接する都市公園が人気で、木陰やあずまやが欲しいとの声があります。

**森谷館長** 冬のひがしねウィンターフェスティバルでのイルミ



ご協力いただいた皆さん(右から)

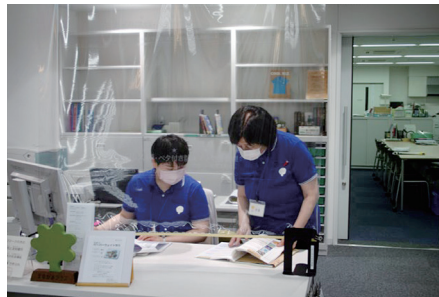
◆市民活動支援センター業務部門

チーム 高橋 美香さん

◆総合館長 森谷 功さん

◆美術館業務部門

サブチーム 加藤 歩美さん



ネーションはとても好評の声をいただいております、東根の冬の風物詩の感さがあります。

### 地域に根差した活動 感じる課題は

**高橋さん** センターでサポートしている団体の中には、メンバーの高齢化による後継者不足、今後の活動に対する不安があるようです。

**加藤さん** 将来の担い手育成という視点から、市内小中学生に美術館の無料鑑賞券を配布し、小さいうちから芸術文化に親しむ機会を設けています。

### アフターコロナ 未来を見据えて

**高橋さん** 利用される皆さまのお手伝いをするため、レファレンス(調査相談)技術の向上により機能強化を更に図りたいと考えています。

**加藤さん** 東根ゆかりの文化人を取り上げるなど、地域に根差した情報発信に力を入れていきたいと考えています。

**森谷館長** これまで、個人・各種団体の皆さまとともに施設づく

りに取り組んできました。これからは、さらに、市内にこれだけの規模の工業団地がある事を活かして、工業団地とタイアップしたワークショップや展示等により各企業の製品等を知ってもらおう機会を創出できたらと思っています。地域の担い手確保という意味でもそれらを目にした子どもたちがその企業に興味を持ち、東根市で就職したいと思っただけで良いですね。

総勢20名のスタッフの皆さんが、それぞれの高いスキルを生かしながら専門性の高い分野でいきいきと働いておられました。芸術文化は、豊かな人間性を育むためには欠かせないことができます。今回の対談の中で出た意見等を市政に反映させることができるよう、市議会としてしっかり支援していきたいと思えます。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

# 東根市のこんなことが決まりました

●会期 5月31日～6月17日

この中から3項目を **ピックアップ!**

議論された案件	条 例 ……………1件	事件決議 ……………2件
	補正予算 ……………2件	


※詳細は、市ホームページからご覧ください。

**議 員** セルフメディケーション税制の具体的な改正内容は、**総務部長** 平成30年度から5か年間の適用だったが、更に5年間延長され、令和9年度までとなる。また対象範囲の見直しも行われている。**議 員** 本市のセルフメディケーション税制による医療費控除の実績は、**総務部長** 令和3年度分の医療費控除を受けた方は3119名で、この内、セル

**こんな質疑がありました**

改正の概要(市民税関係)  
 ● 非課税限度額における国外居住者親族の取扱いの見直しによる改正  
 ● 特定公益増進法人等に対する寄付金制度における寄付金の範囲の見直しによる改正  
 ● セルフメディケーション税制の延長に伴う改正

**ポイント1**



地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、必要な改正が行われます

**用語解説**

**セルフメディケーション税制**  
 1年間に自己負担した対象の一般用医薬品等の購入費が一定額を超える時、税務署に申告すると、その超えた分にかかっていた税金が戻ってくる制度。

セルフメディケーション  
**税 控除 対象**

セルフメディケーション税制による控除を受けた方は2名。市民生活に影響のある税制改正なので、今後も市報やホームページ等で広く周知していく。

**議 員** 契約の詳しい内容は、**教育次長** 校舎、体育館、プール等の建造物の解体と付属設備の撤去、樹木の伐採等である。**議 員** 学校敷地は住宅地に隣接するが、防音と防塵飛散対策は万全か。**教育次長** 防音シートで覆うとともに、散水しながら飛散防止対策を行う。**議 員** 工事に際しては、住民生活に十分に配慮するとともに、解体後は地域の中心部が広大な更地になるため、適切な敷地管理と速やかな跡地利用促進を要望する。

**こんな質疑がありました**

旧神町小学校解体工事請負契約の締結について  
 議第49号 旧神町小学校解体工事請負契約の締結について  
 4億9千5百万円で請け負う解体工事の契約締結は、全会一致で可決されました。

**ポイント2**



旧神町小学校解体工事の契約が決まりました



### 魅力(かち)ある園芸やまがた 所得向上支援事業 予算額：3,885万3千円



さくらんぼ省力仕立て施設

昨年度までは園芸大国やまがた産地育成支援事業として、担い手や3戸以上の農家等による施設整備、設備や機械の導入等に対し経費の1/2又は5/12を補助してきたが、今年度から標記名称に変え、補助率が1/2に統一された。また県と市の負担割合がそれぞれ1/3と1/6に変更になるものである。

### ホストタウン推進事業 補正額：1,539万8千円



事前合宿で来市するドイツチーム全員の毎日のPCR検査費や、新幹線移動時他の乗客の前後に席を確保し感染防止を図るための費用など、主に新型コロナウイルス対策費として予算を追加する。

あらゆる状況を想定しながら適切な準備で臨んで欲しい旨を要望した。

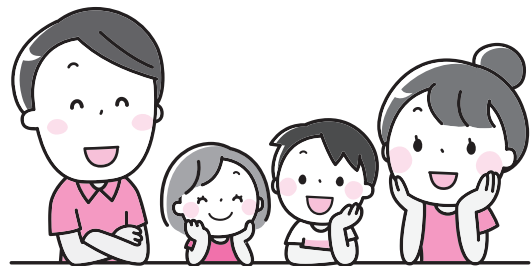
### 雇用調整助成金申請代行 補助金事業 補正額：900万円



コロナ禍における雇用維持のため、支給申請に係る申請代行事務を補助していた本事業について、雇用調整助成金等の特例措置が延長されることに伴い予算を追加する。

昨年本事業に対し、52件の申請があったことから、引き続き雇用維持に向けた万全の対策を要望した。

### 子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯以外)支給事業 予算額：4,685万6千円



新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てへの経済的負担の増加や収入の減少が生じている子育て世帯(ひとり親世帯を除く)を支援するために給付する。

対象は、住民税非課税又は家計激変世帯で、児童手当又は特別児童扶養手当を受給している世帯と高校生のみで、児童1人あたり一律5万円を給付する。

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## ●ウィズコロナ・アフターコロナにおける“大ケヤキ”を中心とした東根北部地域のまちづくりについて



高橋 弓嗣 議員

### 都市計画マスタープラン改定を受けて

**議員** 東根北部地域のまちづくりに対する考えは。  
**市長** 大ケヤキやさくらんぼ東根温泉などの地域資源、城下町としての歴史などを活かしながら、地域の魅力を高め、香り高い文化のまちづくりを進めて行く。

### 東根のシンボル大ケヤキの今後について

**議員** 昨年の豪雪で枝折れが発生したが、今後の保存・維持・管理の方針は。  
**教育長** 樹木医より樹勢に大きな影響を及ぼすものではないとの所見を得た。緊急対策として腐食部切削、殺菌剤塗布、人工樹皮等コーティングを実施している。今年度は長期的な保護対策計画の策定に向け、調査項目の検討を行う。  
**議員** この度の折れた枝の活用についての考えは。  
**教育次長** 内部の腐食が進んでいるが、各種団体等か

ら提案や意見を頂き、有効な活用を研究して行く。  
**議員** 更なる落木も想定し、安全対策をお願いする。



昨年「やまがた景観物語」おすすめビューポイントに追加された東根城本丸跡の白壁と横綱を抱く大ケヤキ

### ウィズコロナでの市民の健康づくり推進について

**議員** 健康資源とも言う「さくらんぼ東根温泉」などを踏まえた健康づくり推進についての考えは。  
**市長** 健康増進や癒しの効果が見込まれ、効能に優れた東根温泉を活用した健康づくり事業について、関連団体や各地区で実施されているサロン等との連携も視野に研究して行く。  
**議員** ウォーキング事業

等で、ポイントを貯め、そのポイントを商店街で利用できる等、健康増進が楽しく出来るような事業展開を要望する。

### アフターコロナを見据えた観光資源の活用の考えは

**議員** 大ケヤキや温泉街などの観光資源の活用についての考えは。  
**市長** 観光資源を有機的に結びつけ、地域ならではの魅力を発信し、アフターコロナの時代に対応するための新たな交流と賑わいを創出する取組みを進める。  
**議員** 東根版フアオルトのような「観光」と「健康」をテーマとした取組みを検討してはどうか。



東根市の観光・健康資源「さくらんぼ東根温泉」

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

## 構造改革!時代に即した消防団へ

### ●「持続可能な東根市消防団」の実現

子育てするなら東根市 さらに前へ

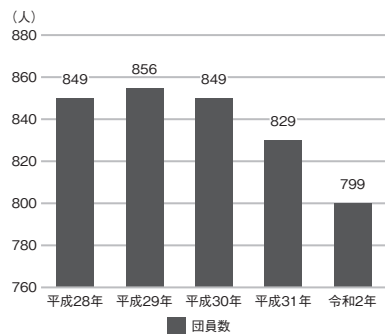
### ●未満児の保育施設整備と 子ども施設のコロナ対策強化



齋藤俊一郎 議員

「現場の声」を施策に反映  
団員アンケート調査を総括

**議員** 調査結果を地域消防防災力の強化のために施策に活かし、団員確保や活動の強化に繋げていくのか。  
**市長** 訓練や行事等の活動と報酬等の処遇の見直しなど意見をいただいた。結果を踏まえ、活動の負担軽減や処遇改善、多様な勤務形態に対応する環境整備、家族の理解を得る為の取り組みが今後は必要である。  
**議員** 具体的な取り組みに向けた考えと国の新たな方針を踏まえた処遇や既存の訓練等、見直し状況は。  
**市長** 処遇等の改善は、国の方針と近隣自治体の状況調査を行い検討する。訓練等の在り方は、国の新たな考えを注視し、消防団と協議していく。また、団員確保に向け消防団のイメージアップを図っていきたい。



▲東根市消防団の団員数の推移  
(出典:東根市消防本部)

時代に即した消防団に向け  
「条例改正」を提案

**議員** 人員確保と消防活動の充実を図るために導入している予備消防団の報酬や補償などの現状と課題は。  
**消防長** 報酬は年6千7百円であり、課題は団員並みの公務災害補償を受けることができないなど。  
**議員** 消防団組織の再編の現状と方向性は。  
**消防長** 一部の部を統合し再編した。今後も部を維持していくため、再編を含め消防団と協議していく。  
**議員** 処遇改善や行事の簡素化、団員OB等による機能別消防団制度の導入など、

関係条例の改正を提案する。

新たな児童福祉施設等の  
整備方針を策定へ

**市長** 昨年末において、130名が内定保留、うち109名が三歳未満児であったが、入所調整等により待機児童の解消に努めた。今後、未満児の保育ニーズなど様々な課題を整理し、整備方針の策定を進める。

子ども施設の新型コロナ  
感染症対策強化予算を要望

**議員** 拡大する保育ニーズに対応するため、施設定員2割増の弾力化措置が行われており、密集が起きやすい環境が懸念される。子ども施設への「感染対策の強化と施設従事者へのワクチン優先接種」を求める。



子ども施設の  
感染症対策の風景写真

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## ●低炭素から脱炭素へ向かう 農林業分野の温暖化対策と 実行のための協働について



浅野目幸一 議員

**脱炭素へ市が主導、調整役となるロードマップは**

**議員** 脱炭素へ向かうこの先29年の年月は決して長くない。カーボンゼロ実現に向けてどのようなロードマップをお持ちなのか伺う。

**市長** ゼロカーボンシテイ宣言から最初の10年間で重要な期間と捉え、特にこれから先の5年間は、国が示す脱炭素実現の基盤となる重点施策と整合を図りながら、これまでの実施事業等を継続していく。

**農林関連の具体的な、脱炭素対策は**

**議員** 果樹剪定枝などで作るバイオ炭を土に埋めて、炭素を土中隔離する方策が関心を集めている。森林の育成や、本市の地域特性を踏まえた農林業関連の具体的な脱炭素対策について伺う。

**市長** 剪定枝を炭化し土壌に戻す技術や、水田農業

における中干し期間の延長の手法など脱炭素に効果のある取り組みを研究し、推進していく。

**市民との連携、実践を、どう導くのか**

**議員** 市長の「協働のまちづくり」には、強く共感している。実現に向けては、何よりも市民の力が要だが、実行のための協働について伺う。

**市長** 市民、事業者、行政などが目指すべきゴールを共有することが何よりも重要と考え、それぞれの役割を持った団体とともに、市民との連携や実践に取り組んでいく。

従来



▲燃焼することでCO2が発生

今後



▲炭化することで大気中のCO2濃度が低下

**次期「大げやき環境基本計画」の策定は**

**議員** これまでの成果、評価および課題を踏まえた、次期大げやき環境基本計画の策定について伺う。

**市長** ゼロカーボン実現に向けた実効性確保のための数値目標を含め、具体的な行動内容を盛り込み、令和4年度策定予定。

**実行計画の「区域施策編」を策定する予定はないか**

**市民生活部長** 次期「大げやき環境基本計画」と時期を合わせて策定予定。

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

デジタル戦略推進とともに

## ●デジタル・ディバイド(情報格差)解消

魅力・情報発信に新たな人材活用を

## ●地域おこし協力隊・航空会社社員の受入れ

## ●芸術文化は今こそ大事!



山科 幸子 議員

### 用語解説

#### デジタル・ディバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと

#### ①デジタル化推進の現状は

議員 コロナ禍で行政のデジタル化に拍車がかかったが、本市の取り組みは。市 長 3月に日本情報通信(株)と基本合意書を締結した。4月にデジタル変革推進室を設け、計画・調整、実施に取り組んでいる。

#### ②情報格差の解消策は

議員 ワクチン接種ではインターネットやスマホ等使いこなす人、できない人で格差が顕著になった。高齢者をはじめデジタル弱者への取り組みはどうか。市 長 全国的に大きな課題だ。サポート体制と従来の方法も継続していく。

#### ①情報発信で人を呼び込む

議員 移住定住策は。市 長 各種情報発信とPR活動を実施し、お試し地域おこし協力隊制度で、移住促進を図っていく。

#### ②地域おこし協力隊の活用

市 長 本市を選んでもらうには農業主体の事業が効果的だ。今年度は新規就業と定住を条件に募集する。

#### ③航空会社社員の活用

議員 空港所在市として、苦境の航空業界が向うさせている社員を受入れる考えは。市 長 多様な人材を受入れることは新たな事業や事務改善に繋がる。有効な人材活用を考えていく。

議員 いずれも補助制度がある。職員数が限られている中、豊かな人材、新たな

人材活用を強く要望する。



▲元地域おこし協力隊員が情報発信中!

#### 芸術文化振興の取り組み

議員 本市の貴重な文化資源と多数の日展作品などの保護と活用は。教育長 重要事項は文化財保護審議会に諮問したり、専門家の意見を聴く。管理保存には、補助金等もある。まなびあテラスや東の杜、各地区公民館で文化事業を開催し活用している。議員 市の公的機関が組織規則にのっとり芸術文化事業に取り組み、保護・活用していただきたい。

# 一般質問

# Q & A

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## ●さくらんぼ予想収穫量 最低水準か ●危険な空き家 市の対応状況は



植松 宏 議員

豪雪と遅霜の被害状況は？

**議員** 今冬の豪雪被害額が県から公表されたが、本市の被害状況、及び遅霜によるさくらんぼなどへの被害状況について伺う。

**市長** 豪雪により果樹の倒木や枝折れが多数発生し、雨よけハウスや加温ハウス等の施設関連の倒壊・破損の被害は一億八千万円余と大きかった。

凍霜害も市内全域に及び、特にさくらんぼとりんごに被害が出ている。さくらんぼの着果数は、花束状短果枝あたり1.3で過去5年間で最も少ない状況。

**議員** 被害を受けた農家へ、経営面での支援策はどのように考えているか。

**経済部長** 今回の災害では県も「凍霜害・雹害緊急対策パッケージ」の補助事業などを準備。市も合わせて対応するとともに、来年に向け、市独自事業による受



▲サクラんぼの作柄調査

粉環境の向上などでも、継続して支援していきたい。

周囲に悪影響を与える  
空き家の実態は

**議員** 市内の空き家の現状と、その内、危険な空き家はどれくらいあるか。

**市長** 空き家の件数は、昨年10月時点で483件、内解体が必要と思われる空き家は29件ある。これらの空き家に対しては、適正管理の指導を行い所有者から解体してもらった事例もある。今後も指導に従って

らえない管理不全の空き家については、「特定空き家等」としての対応も視野に入れて検討していく。

**議員** 特定空き家等に対する措置は？

**市民生活部長** 「空家特措法」で特定空家等に認定されると、所有者に対し空き家の除却、修繕等を指導し、従わないときは勧告、改善命令、行政代執行による解体も出来る。

**議員** 解体するには費用も掛かる。本市でも空き家解体の補助制度を設けていくべきではないか。



▲放置された空き家

# 政務活動費 令和2年度 収支報告の概要

## 政務活動費とは？ (東根市の場合)

- ①議員が行う調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用
- ②議員1人あたり年150,000円(月12,500円)を支給
- ③会派又は会派に属さない議員(無会派議員)に支給
- ④収支報告書を作成・提出し、残額が生じた場合はすべて市に返還
- ⑤収支報告書に領収書などの添付を義務付け

議会ホームページで領収書も含めすべて公開中!

### ◆令和2年4月～令和3年3月

会派名等	所属議員(◎代表者)	対象議員数	交付額(円)	支出額(円)	備考
ひがしね創生会	◎白井 健道 ・高橋 鉄夫 ・清野 忠利	3	450,000	0	新型コロナウイルス感染症対策経費の財源として活用いただくように市長に申し入れたことから、令和2年度政務活動費は全額返納しております。
政清・公明	◎河村 豊 ・原田 利光	2	300,000	0	
新会派 令和	◎東海林克彦 ・三宅 一人 ・元木十四男 ・滝口 公一 ・高橋 弓嗣	5	750,000	0	
ひがしね市政クラブ	◎片桐 勝寿 ・齋藤俊一郎	2	300,000	0	
自民クラブ	◎浅野目幸一 ・佐藤 直	2	300,000	0	
無会派議員	植松 宏	1	150,000	0	
//	山科 幸子	1	150,000	0	
//	高橋 光男(副議長)	1	150,000	0	
//	細矢 俊博(議長)	1	150,000	0	

※議長・副議長は無会派議員となります。

## 議員表彰

今年度、全国市議会議長会第97回定期総会において本市議会より2名が表彰されました。

- 〈特別表彰〉 ◎議員在職30年以上 清野 忠利 議員  
◎議員在職25年以上 佐藤 直 議員

## 提言書を提出しました

市議会は、6月28日に厚生常任委員会が所管の調査事項として設定した「空き家対策」について、1年にわたり調査、研究を重ねた成果として、「提言書」を土田市長に提出しました。土田市長は、「補助制度の創設等に向けて検討を進めていきたい」と述べました。

### 【提言書の内容】

- 今ある空き家への対策について…①相談支援体制の拡充 ②空き家バンク登録手続きの見直し ③実地調査の随時実施 ④「特定空家」の適正判定 ⑤解体補助制度の創設
- 空き家発生予防策について…①空き家発生予防の啓蒙 ②売却希望者と移住希望者とのマッチングの仕組みの創設



▲写真左から 土田正剛市長、細矢俊博議長、高橋光男副議長、片桐勝寿厚生常任委員長

聞かせて!



ぼくの将来の夢

大森小学校 6年  
平 煌生さん

ぼくの将来の夢は、国土交通省の国土地理院で働くことです。なぜかというと、世界の国の国土や地形に興味があるからです。

三歳の頃、いところに「国旗のほん」をもらいました。その本を通して、世界にはたくさん国があることや、首都、国旗の由来などを知りました。それから、地図帳をお母さんに買ってもらい、地名や人口を調べるようになりました。そして、将来は自分の手で地図を作りたいと思うようになりました。

国土地理院で働くためには、日本のことも世界のことも、もっとくわしくならなければいけません。だからぼくは今、学校の宿題で社会の自主勉強をがんばっています。都道府県の有名なものをまとめたり、山形新聞の世界遺産の記事を切り抜いてファイルにとじたりしています。そして、いつか世界の国を旅して、新聞で見た世界遺産を自分の目で見ていろいろな文化にふれてみたいです。そして、小学生にも分かる、世界地図を作りたいです。



令和3年第3回定例会  
日程のお知らせ  
8月31日から  
9月17日まで  
開催予定

8月31日(火) 開会  
本会議  
決算特別委員会  
予算特別委員会  
9月 2日(木) 本会議(一般質問)  
3日(金) 本会議(一般質問)  
7日(火) 本会議(総括質疑)  
決算特別委員会  
予算特別委員会  
各常任委員会

9月 8日(水) 決算特別委員会各分科会  
9日(木) 決算特別委員会各分科会  
10日(金) 各常任委員会  
9月17日(金) 決算特別委員会  
予算特別委員会  
本会議  
閉会

※日程は、招集告示後の議会運営委員会を経て、定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

令和3年第2回定例会では、延べ11名の皆様に議会を傍聴していただきました。

傍聴を希望される場合は、新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒・マスクの着用にご協力をお願いいたします。

編集後記

東根市議会では、議長、副議長のほか、各委員会の委員などの任期を2年としており、この118号が、現在の議会広報委員会が発行する最後の「議会だより」となります。

振り返ると新型コロナウイルスへの対応に迫られた2年となりました。感染防止のため、議会の傍聴を制限したり、議員活動も大きく制限されたりしましたが、この間に開催された計6回の臨時会では、緊急経済対策を中心しっかりと議論しました。

8月に議会内の体制が刷新しますが、「議会基本条例」のもと、コロナ後を見据え市民福祉の向上と市勢の発展に繋がる議会を目指したいと思えます。これからも皆様のご意見をお寄せください。

- 議会広報委員会
- 委員長 片桐 勝寿
  - 副委員長 高橋 弓嗣
  - 委員 三宅 一人
  - 委員 齋藤 俊一郎
  - 委員 山科 幸子
  - 委員 植松 宏
  - 委員 高橋 光男

問い合わせ (議会事務局) TEL(42) 1111(内線4111)・FAX(43) 1178 E-mail: gikai@city.higashine.yamagata.jp

